

議会改革推進会議「検討部会」会議録

令和7年2月7日

亀山市議会

議会改革推進会議「検討部会」会議録

- | | | | |
|---|------|---|-----------------|
| 1 | 開催日時 | 令和7年2月7日（金） | 午前9時31分～午前9時54分 |
| 2 | 開催場所 | 第1・2・3委員会室 | |
| 3 | 出席会員 | 部会長 福沢 美由紀
副部会長 今岡 翔平
部会員 古田 吉昭 櫻木 善仁 森 美和子
鈴木 達夫
会長 岡本 公秀
副会長 森 英之 | |
| 4 | 欠席会員 | なし | |
| 5 | 事務局 | 議会事務局長 大泉 明彦 議事調査課長 水越 いづみ
書記 渡邊 靖文 | |
| 6 | 案件 | 1. 第94回検討部会の確認事項について
2. 議会改革白書2025への掲載内容の確認について
3. 議題
(1) 子ども議会の実施について（検討課題47）
4. その他 | |
| 7 | 経過 | 次のとおり | |

午前9時31分 開 会

○部会長（福沢美由紀君） おはようございます。

ただいまから第9回議会改革推進会議検討部会を開会いたします。

それでは、まず事項1、第94回、前回の検討部会の確認事項についてでございますが、カルテへ追記しましたのでご確認いただきたいと思います。

内容について、事務局より説明をお願いします。

水越課長。

○議事調査課長（水越いづみ君） それでは、資料1のカルテの番号47の子ども議会の実施についてをご覧ください。

4ページになります。

子ども議会を毎年開催することについてと、あと来年度につきましては、今年度と同じく中学生議会として開催することについて確認していただきまして、議会改革推進会議で協議をするということを確認していただきましたので、カルテに追記をさせていただいております。

それから、続きまして、資料2のカルテ31の本条例の目的達成の検証の在り方についての2ページをご覧くださいと思います。

こちらにつきましては、災害や感染症等危機管理の対応及び障がい者への合理的配慮に関する規定を追加する条例の見直しについて、プロジェクトチームを設置し協議を進めていくということを確認していただきましたので、追記をさせていただいております。

続きまして、資料3のカルテ48のオンライン会議の実施についての3ページをご覧くださいと思います。

こちらは、委員会条例におきましてオンライン会議の開催を規定しております開催方法の特例について、従来は新型コロナウイルス感染症やその他重大な感染症だけだったんですが、それに加えて、大規模な災害等の発生を追加する改正を12月定例会に行いましたので、追記させていただいております。それから、委員会条例におけるオンライン会議の開催を規定する開催方法の特例について、会議規則に規定する欠席事由の範囲で拡大を図るための検討を、プロジェクトチームを設置し協議を進めていくということを確認していただきましたので、追記をさせていただいております。

続きまして、資料4のカルテ50の議員の介護休暇・介護時間及び育児休暇についての1ページをご覧くださいと思います。

こちらは、会議規則に定めました欠席事由に関して、それぞれの具体的な運用基準の作成について、プロジェクトチームを設置し協議していくことを確認していただきましたので、追記をしております。

資料1から4まで、全てのカルテの改訂日は本日、2月7日とさせていただきます。

説明は以上になります。

○部会長（福沢美由紀君） 説明は終わりました。

カルテへの追記に関して、何かご意見がございましたら発言をお願いいたします。

鈴木委員。

○部会員（鈴木達夫君） おはようございます。

先ほど話題になった毎年中学生議会をということがあったんですけど……。

○部会長（福沢美由紀君） 毎年子ども議会。

○部会員（鈴木達夫君） 子ども議会ですね、すみません。そんな雰囲気は前回の会議であったんですけれども、どうなんですかね、皆さん。毎年ということを本当にこういうカルテに書き込むということ。令和7年度はやるということは皆さん同意したんで、毎年という表現がいかがなもんですかということ。

子ども議会ですね。形は変えようが毎年努力、そういうようにやるように努めようという意見はあったけれども、いやもう決定したんだというのは、こういうところを書いてしまうと非常に重いんじゃないかなという気がしますので、ちょっとその辺を皆さんと再度合意をしておいたほうがいいのかなあと思って、お願いします。

○部会長（福沢美由紀君） 決定は推進会議で行ってもらうので、そこで意見が出たらいろいろまた検討することになるかと思いますが、皆さんのお気持ちとしてどうですかということですね。

この前ちょっと打合せをしたら、学校の先生側としても、確かに二、三回しないと評価はできないですよというふうなお声はあったところですけどもね。

どうですか。

もう一回、どうぞ。

鈴木委員。

○部会員（鈴木達夫君） 今年度はそういう形でうちの検討部会、今から全体のあれがあるので、これで決めたということで表記しておいても、またそれに対して改める時期があれば改めればいいかなという考え方もあるもんですから、別にこだわってはいませんが、皆さんがそれでよければそのままでもいいんですけどねというくらいなんです。

○部会長（福沢美由紀君） いかがですか。

森委員。

○部会員（森 美和子君） 子どもの声を聞くという場をしっかりと考えていく必要があるのかなと思いますので、中学生議会というのは一つの方法として、それを毎年やっていくのか、じゃあ高校生とか小学生とか、そういう子たちの意見をどのように聞いていくのかということも一度整理はする必要があるのかなと思っています。

それから、この後2年間、私たち、令和8まで行けるという。

改選まで、今期までは決めておいてもいいのかなと思いますけど、ちょっと整理は必要なかなと思っています。

○部会長（福沢美由紀君） 今岡副部会長。

○副部会長（今岡翔平君） 私は結構毎年やりたい派なんですけれども、カルテ自体の記述は、鈴木議員がおっしゃられたように、子ども議会を毎年開催としという部分を切って、削って、一応事実としては、令和7年は同じような中学生議会として開催することを確認したという文にとどめておくのでもいいのかなというふうには思います。

○部会長（福沢美由紀君） どうですか。

櫻木委員。

○部会員（櫻木善仁君） やっぱり毎年やっていくというのは重要なことかなというふうに思っています。やっぱり主権者教育をしていく中でも、また私たちが議会をやっていく中で、議会のことを理解してもらうというのも、一番手っ取り早いといったら変なんですけど、直接関わってくるとするん

で、ここでやっぱり本気で僕らもぶつかっていかなあかんと思いますので、ぜひ続けたいなというふうに思います。そこで優柔に切ってしまうと、またあその議会はやめたぞみたいになってしまうので、きっちり本気で向き合いたいなというふうに思います。

○部会長（福沢美由紀君） 古田委員はどうですか。

どうぞ。

○部会員（古田吉昭君） 前回の説明を聞いて、毎年開催で賛成なんですけれども、このカルテに書く形としては、毎年開催を原則として、中学生議会だけになってしまうような気がしますんで、もうちょっと、今、森議員が言われたように、高校生も小学生もと今後広げていけるような幅を持たせたほうがいいのかとは思っています。

○部会長（福沢美由紀君） ちょっと若干分かれる感じがするんですが、毎年開催が望ましいなあとは思っておられる中で、今期、令和7年度、令和8年度については、8年度についても、どうですか。まだ分かんないという感じですか。8年度までは、私たちの期の間はやるという感じですか。そこをちょっと確認したいですけど。

櫻木委員。

○部会員（櫻木善仁君） こちらのほうの体制としてはやるという方向で、当然先方のこともあると思いますので、例えば教育委員会だとか、執行部が、市の側がもうやめてくれというんであれば何か考えなあかんと思いますけど、こちらの体制としてはもうやっていくという方向で、8年までは、のほうがいいんじゃないかなと思いますけど。

○部会長（福沢美由紀君） 森委員。

○部会員（森 美和子君） 多分3回ぐらいすれば、先ほどおっしゃったように課題も見えてくるのかなあとしますので、そこで一回整理してやったら、子どもの声を聞くというのはもう絶対必要やと思っています。

○部会長（福沢美由紀君） 今岡部会長。

○副部会長（今岡翔平君） 私も毎年何かしらを開催するというような認識です。

○部会長（福沢美由紀君） 分かりました。

それと、子ども議会という言葉で、議会ばかりなのかどうなのかということは、幅を持たせることも可能かと思うので、ここの部会員としては、こういう子ども議会のような機会を毎年やっていきたい、望ましいと思っている中で、今期については、令和7年度、8年度、中学生議会、二、三年やるという意味では、中学生議会を行っていくということでいいですか。そういう方向性で、毎年何かしら、やっぱり対象も小学校や高校やいろいろあるので、何かしら子どもたちの声を聞く機会は持ちたいと、それを子ども議会という名前で表すということでいいのかな。

森委員。

○部会員（森 美和子君） 子ども議会。

（「ワークショップとかが入るから」の声あり）

○部会員（森 美和子君） お出かけの対話みたいなやつもできるので、何かしらそういうアクションは、ここに行くのか小学校に行くのか、やりたいなというのは思いますけど。

○部会長（福沢美由紀君） 鈴鹿なんかも何か報告会といいながらワークショップをやっておったりしますんで、そこは、どこでやっても議会かなという意味では幅を持たすことは可能なかなあとは

思うんですけども、そういう機会を毎年持ちたいという中で、じゃあ子どもたちの声を聞く、子どもたちが意見を表明する場を保障するというを毎年やっていきたいという中で、この部会としては、今期、7年度、8年度、昨年度と同様の中学生議会に取り組みたいという意味でよろしいですか。

何か急に、直前になって変わって申し訳ない。

そういう感じで今日、全協の後に報告せなならんので、私が言いますので、そういう意思だけちゃんと確認しておかないと、独り歩きして、前もちょっと検証で、今年度終わらましよう確認した後でまたやっぱりやろうということになりましたのでね、本当に皆さん気をしっかり持っていて、そういう意思でよろしいんですね。

(「はい」の声あり)

○部会長(福沢美由紀君) それで、決定は推進会議でしていただきますので、その皆さんのご意見もまちたいと思います。

それでよろしいですか。

水越課長。

○議事調査課長(水越いづみ君) こちらに記載させていただいている子ども議会というのが、その対象者とか、あと議会形式を取るのか出前講座のような形を取っていくのかという、全てのものを含んで子ども議会というふうに表現しているので、それを毎年開催というのは、カルテのほうはこちらの、このままでよろしいでしょうか。

○部会長(福沢美由紀君) そうですね、そういう幅を持たせている、そういう説明をしますわ。

幅を持たせた意味での子ども議会であるということで、よろしいですか。

もう一遍決め直しますか、やるという気持ちは持ちつつ。もうあまりちょっといろいろ変えるのが、あと数十分で、すみませんけれども、そういう表記の仕方で、皆さんのお気持ちを確認していただいたということで、よろしくお願いします。

ほかはいいですか。

(発言する者なし)

○部会長(福沢美由紀君) それでは次に、事項2です。

議会改革白書2025への掲載内容の確認についてですが、今回はそういう事項はありませんでした。

次、事項3. 議題に入ります。

子ども議会の実施についてでございます。

前回の検討部会において、子ども議会、令和7年度やっていこうということで確認いただいたんですけども、そこで、先ほども言いましたけど、全員協議会の終了後に開催する議会改革推進会議において、7年度もやっていく、毎年やっぱり、今確認したことですわ、毎年子どもたちの意見を表明したり私たちにお聞きする場を持ちたいということと、それを子ども議会というんですけども、それを毎年したいということと、7年度は今年度と同じような方法で中学生議会として実施するというを諮っていただきます。そして、この推進会議で令和7年度の実施が決定しましたら、2月20日の校長会におきまして議長から協力依頼をしていただきますので、その際の説明資料として令和7年度中学生議会の概要について(案)を推進会議でご確認いただく必要があります。つきましては、これより推進会議に提出しますこの案を、内容をご確認いただきますので、これについても事務局か

ら説明をお願いします。

水越課長。

○議事調査課長（水越いづみ君） それでは、資料5をご覧くださいと思います。

令和7年度亀山市中学生議会の概要について（案）でございます。

まず目的ですが、次世代を担う子どもたちが、行政や議会の仕組みを学ぶことで市政への関心と理解を深めるとともに、意見を表明する機会を保障する。それから、子どもたちの自由な発想や視点からの意見や提言を市政の参考とするとしております。

開催の日程としましては、令和7年8月26日火曜日。それから、来年度は新たに予備日としまして、令和7年8月28日木曜日を設定させていただきたいと思います。

開催場所につきましては、亀山市役所3階、亀山市議会議場でございます。

参加対象者ですが、まず市内中学校在学の中学生としております。こちらにつきましては、年度が替わりまして4月以降に、参加人数ですとか対象の学年などについて中学校と協議の上、決定させていただく予定をしております。それから、昨年同様、事前に保護者の承認を得ることとし、目的や活動、映像使用について承諾書をいただきます。それから、執行部側の参加につきましては、昨年同様、市長、副市長、地域医療統括官、教育長、代表監査委員、関係部長等としております。それから、議会側は全議員ということをお願いしております。

質問のテーマにつきましても、今年度と同様、「もっと好きになれる！亀山市の未来について考える」ということで考えております。

それから、実施内容及びスケジュール案でございます。

全体のスケジュールとしましては、この4月の下旬に開催案内等の配付、それから中学生議員の選出の依頼を行います。そして、5月に学校説明会にお伺いする予定をしております、6月下旬頃に各学校におきまして中学生議員及び中学生議長の選出をいただきます。そして、6月下旬から7月にかけて一般質問の検討、準備を行っていただきまして、7月の下旬に一般質問の内容を、発言通告書を提出いただきます。そして、当日、8月26日火曜日に中学生議会を実施というスケジュールを考えております。そして、詳細な内容ですとか具体的なスケジュールにつきましては、今後、各学校と協議をして決定をしていきます。

当日のスケジュールの案ですが、来年度につきましては、午前にリハーサルを実施しまして、昼食を挟みまして、午後から議会を開会し、挨拶、それから一般質問、そして閉会の挨拶、記念撮影というような流れで考えております。時間等の配分につきましては、また今後協議させていただくことになります。

そして、その他としまして、学校及び生徒の負担とならないよう、事前準備、学校説明会等の中学生議会に関することについての具体的内容は、教育委員会及び学校と協議しながら検討し、必要な資料等は議会で準備するということで作成させていただいております。

説明は以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） 昨年度にほとんど同じなんですけど、変わりましたのが、日程を、やっぱり台風の心配がございましたので、いろいろ削っていったらこの日しかないんですわ、8月26日しか、学校側、教育委員会ともお話ししましたけど。26日で、そしてもし台風のときの予備日として、1日明けた28日です。この次の日は私たちの議会の開会日になります。えらい忙しいんですけ

れども、ここしかないのですね。すみませんけど、お願いしたいなと思っています。

そして、もう一つ変わりましたのがリハーサルです。リハーサルをやっぱ丁寧にしたいという先方の意見もありましたので、今回こういう内容にしております。

そして、昨年度と一緒に言うていましたけれども、中3がいいのか、何人がいいのか、何分がいいのかということについては、そのときそのとき、その学年やその子どもたち、雰囲気によって全然違うということで、学校側としても子どもたちを見てから決めたいというご意見もありますので、そこはそういうことでやっていきたいなという意味です。以前は、今年度にある程度詰めて、また新年度になって新しい校長先生になったり新しい先生になってからということでもちょっと連携、連絡体制も大変だったので、そういうことで、きちっと来年度でぐっと詰めていく打合せはしていきたいなあと考えています。だから、そこで30分なのか20分なのかとか、何人なのかとか、そこら辺の細かいことは決まってくるかなと思いますが、そんなことでよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○部会長（福沢美由紀君） それでは、その他の項ですな。

次の開催日日程なんですけど、2月20日になっております。午後1時からということなんですけれども、部会については公開をしなくちゃいけない、いついつ部会をしますということで公開しなくちゃいけないくて、そうすると、プロジェクトチームを1時からとやっても、プロジェクトチームの話合いは公開ではないので、ちょっと市民への周知がしにくいんですね。できましたら、2月20日の全協が大体11時ぐらいに終わると思いますんで、全協が終わり次第、プロジェクトチームの討議、審議していただいて、それで部会についてはきちっと1時からということで、私、お知らせするということがよろしいですか。間の時間、ご予定は大丈夫ですか。

(「はい」の声あり)

○部会長（福沢美由紀君） では、そのようにさせてね。今後も、だから、そういうプロジェクトチームをやって、部会なので、そんな形の予定の立て方になると思います。

本日の案件は以上でございますが、ほかに何かありませんか。

(発言する者なし)

○部会長（福沢美由紀君） なければ、以上で議会改革推進会議検討部会を閉会いたします。ありがとうございました。

午前9時54分 閉 会

この会議録は正当であることを認め、ここに署名する。

令和 7 年 2 月 7 日

議会改革推進会議検討部会長 福 沢 美由紀